



沖縄県地球温暖化防止活動推進員

NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動中

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の直近の主な活動を抜粋してご紹介します。

推進員出前講座のご紹介

沖縄県地球温暖化防止活動推進員は、県内の学校や自治会向けに地球温暖化をキーワードとして出前講座を行っています。推進員への出前講座等のご依頼は、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターまでご連絡ください。

(連絡先は裏面のお問合せをご確認ください。)

活動事例1 サンゴカフェ
「サンゴ保全の活動」

開催日：令和7年1月12日、13日

推進員：俵山 美絵 氏

石垣島を拠点に活動する俵山さんは、NPO法人石西礁湖サンゴ礁基金主催で2日間にわたり開催された「サンゴカフェ」にて、ファシリテーターとして、参加者の意見を引き出しました。マリンガイドが語るサンゴの変化等の話をもとに、参加者とグループ対話を行い、参加者の方が気候危機を自分ごととして捉え、考える場を作りました。具体的にどんなアクションができるのかを参加者から引き出すことで、参加者同士の想いを深めることにつながりました。参加者からは「カフェスタイルのお陰でリラックスした等身大の自分の意見と向き合うことができた」、「石垣島の今と未来について語り合う時間が持てた」、「未来は作れるという意識が強まった」という感想が出ており、サンゴカフェを通じて、石垣島で脱炭素社会を実現する上での意識醸成の一助になることが期待されます。



講座の開催風景と俵山さん

活動事例2 公民館活動を通じた
脱炭素活動

推進員：川口 千賀子 氏

那覇市石嶺公民館を拠点にしている川口さんは、これまでに地球温暖化対策やエネルギーに関する講座等、数多くの講座を企画・展開しています。講座を実施する時は、他の推進員と共に展開するなどして、県内の推進員同士の横のつながりを意識しながら活動しています。講座のひとつ、小学生と保護者を対象としたエネルギー講座では、子ども達にペットボトル風車による風力発電の体験やLED電球と白熱電球を手回し発電機で点灯させる実験等を通じて、脱炭素社会実現のための対策を体験してもらいました。また、他にも様々な活動を通じて、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。その取り組みは、子どもを含めた多くの県民に環境問題への関心を喚起し、地球温暖化対策の重要性を発信しています。



講座の開催風景と川口さん

インタビュー

沖縄県地球温暖化防止活動推進員になって
土方 浄 氏（フリーアナウンサー）

Q 推進員になった理由

- A かつてセンバツ高校野球で「甲子園の桜を見る」というのが沖縄の夢でした。ちょうど決勝の頃に甲子園の桜が満開だったからです。それがどんどん早くなっていきました。「何かが変わり始めている」そんなぼんやりした地球温暖化のイメージが劇的に変わりだし、これは尋常ではないと感じました。
- 「異常」という言葉すら消えてしまった極端な気象現象。台風の“想定外”の進路。海の生き物の北上。「温暖化などない」というエラい人の発言。かわらない日常。
- でも、どんな壮大なビジョンを描く経済活動も、地球環境の変化には抗えません。ことばで現実を伝えていかないといけないと思ったとき、推進員の話聞き、参加しました。

Q 推進員になって良かったこと

- A なにより情報を得られること。情報を精査できるようになりつつあること。そして、それを支えていただけることです。

Q 推進員をこれから目指す方へ

- A 沖縄のいきものたちを見つめる番組「只今いきものんちゅ」に関わって、希少な沖縄の生物が直接、間接に温暖化の影響を受け、生息環境を侵されていることを実感しています。
- この国、この島の美しい自然。おいしい海の幸山の幸。それを守ることが出来るのはそこに住む人の小さな努力の積み重ねでしかないと思います。
- 自分が持っている小さな情報、自分が行っている一つ一つの取り組みを地域に伝えていく。肩書も職業も関係ない。温暖化防止のための役割は、みんな違っていいと思います。
- 少しでも地球を守るパワーを強くしていくために、ぜひ大切なパズルの一つになってほしいと思います。

推進員になりたい方！



地球温暖化防止活動推進員になりたい！興味がある方は、
下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

推進員になって様々な知識を得て、
より多くのネットワークを作りませんか。

- ・沖縄県地球温暖化防止活動推進員は 随時募集中！任期は3年（再任は妨げない）
- ・推進員に委嘱されるまでの流れ
 - ①センターが行う研修を受講（受講料無料、1時間程度。県知事が適任であると認めた方は研修不要）
 - ②沖縄県知事により委嘱後活動開始！

